



霜出小学校PTA森林活動報告書

SARUYAMA DAYORI

サル山だより

第5号

令和3年3月5日発行

学校林「サル山」を利用した森林活動

霜出小学校区は、南九州市知覧町のほぼ中央に位置します。学校の規模は、令和2年度は児童数84名、教職員15名、PTA戸数59戸。保護者の8割は会社員等で、専業農家が少ないという特徴があります。

学校林は、学校から約5km離れた猿山(標高216m)の北側斜面にあり広さは約2.4haです。

サル山には、森林学習や木工体験の活動拠点として、5×8mのウッドデッキがあります。ここから、山並みや南薩縦貫道「金山水車インター」を見下ろすことができます。木陰にあるので、気持ちのいい空間です。

家族で出かけて、お弁当を食べたり森林浴を楽しんだりする場として、ぜひご利用ください。デッキの周りに設置した巣箱からは、小鳥のさえずりが聞こえてくるかもしれません。

森の観察ゾーンには、クリヤクヌギ(ドングリの木)などを植樹しています。動植物あふれる豊かな森に、みんなで育てていきましょう！



さる山デイキャンプ「魚やさつまいもを焼いて食べよう」(令和2年11月14日)

これまでのあゆみ

霜出小学校PTAは、学校林サル山を利用した森林活動を続けています。この学校林は、これまで歴代の保護者らの手で管理されてきました。

6年ほど前から木の伐採・売却、植樹を行い、ウッドデッキ作りなどをして、森林と触れ合う中で心を豊かにしてほしいという思いを受け継いできました。また、定期的に刈払機で下草刈りをして、学習や体験活動の場として活用しています。

今年度は、新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため3密(密集・密閉・密接)を避ける必要があり、常にマスクを着用しなければなりません。いろいろな行事や楽しいイベントが中止となりました。その中で感染予防に努めながら、工夫をして、サル山を利用した活動を行いましたので報告します。

霜出小学校創立140周年記念ドローン撮影

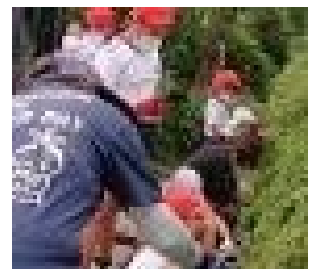
創立140周年



運動会の緑門作り<間伐体験> (9月19日)

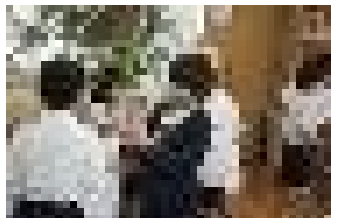
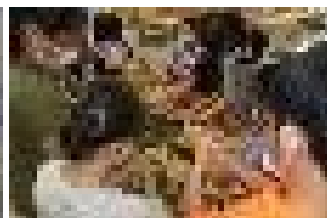
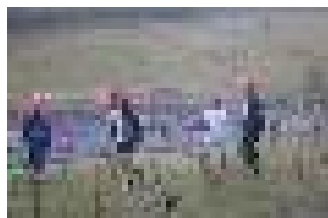
霜出小学校伝統の運動会での緑門制作は、間伐体験をかねて行いました。間伐で出た杉の枝を剪定ばさみで短く切り、それをさしていく体験です。

まず、旧正門の門柱を利用して木枠を組み、そこに緑色のネットを巻きました。ネットの網目に、間伐した杉の枝を隙間なくさします。土台作りは保護者が行い、杉枝差しは児童らが行いました。最後に剪定ばさみで先をそろえて仕上げました。日常では触れることのない、杉の枝や葉の香りを感じながら、山林を利用する文化も体験することができました。



秋の植物採集&森林の役割を学ぶ<秋の

秋の遠足では、山や自然に大いに触れ合う活動を行いました。活動には、森林インストラクター2名を講師として招きました。自然散策、木や植物を触って感じる活動、秋の植物採集・生き物探し、ネイチャーゲーム等森林に触れる活動をたくさん行いました。低学年は、秋探しで見つけた植物で工作し、生活科の学習で秋祭りを行いました。



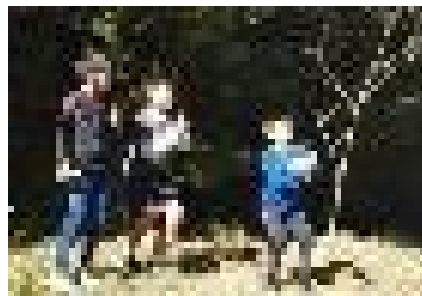
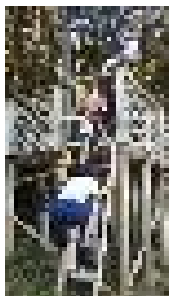
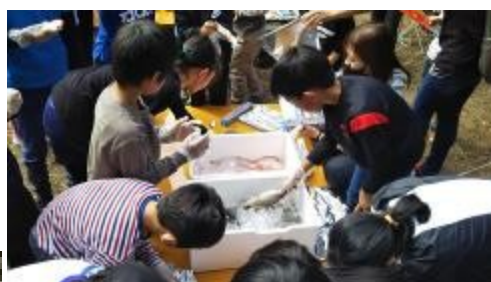
5年生 しいたけのコマ打体験 (12月15日)

5年生が、南薩地域振興局林務水産課林務係の方の協力のもと、しいたけ駒打ち体験を行いました。原木にドリルを使って穴を開け、菌に浸された駒を、金づちを使って打ち込みました。原木は、1本は自宅に保管し、残りは学校のプール裏に保管して育てていきます。



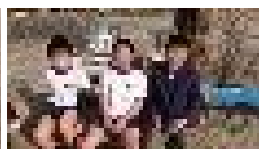
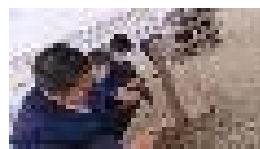
さる山デイキャンプ～魚・芋を焼いて食べよう～（11月14日）

がっこうりん りよう おこな
 学校林を利用して，デイキャンプを行いました。
 しんりん やくわり まな なか やま かわ うみ き
 森林の役割を学ぶ中で，山と川・海のつながりに気づきまし
 た。そこで，いろいろな魚を焼いて食べるデイキャンプを企画
 しました。魚は，ししゃもやきびなご，あじ，さば，さんま，
 さまごま しゆるい ようい じぶん す さかな えら
 タイなど様々な種類を用意しました。自分で好きな魚を選び，
 しお つつ や た がつ なえう
 塩をふり，ホイルに包み，焼いて食べました。また，5月に苗植
 えをして育てたサツマイモを収穫し，集めた落ち葉で焚火をし
 や いもつく おこな ほおば えがお
 焼き芋作りも行いました。おいしそうに頬張る笑顔がいっぱ
 い。また，竹とんぼを作って飛ばしたり，ウッドデッキのはしご
 のぼ たいけん たの おおも
 を登ったりして，体験いっぱい。楽しさ大盛りでした。



木工制作に挑戦（3学期）

しんりん やくわり き かん もっこうせいさく おこな しょうめんげんかん もはんぞう
 森林の役割や木のもつあたたかさを感じながら，木工製作を行いました。正面玄関にある模範像「さわや
 かくん」の周りに6年生がプランター台作りを，4年生がシンボルツリー「けやき」の幹の周りを囲むベンチ
 づくりを，3年生が丸太遊具のペンキ塗りをしました。それぞれ保護者や大工さんの指導・協力のもと制作し
 ました。ベンチの背もたれには，ひとやす すいぼんほきゆう すいどう お つく
 一休みして水分補給できるように水筒を置くスペースも作りしました。



野鳥と自然に触れる会（1月24日）



なんざつしょうねんしぜん いえ やちょうかんさつかい しぜんさんさく
南薩少年自然の家で、野鳥観察会や自然散策（サイク
リング）を楽しみました。自然の豊かさを肌で感じ、そ
こに生きる生き物に触れる体験活動ができました。双眼
鏡を使ってクロツラヘラサギを見ることができました。

卒業記念制作と記念植樹（12月～3月：6年生）

ねんせい そつぎょうきねん つぎ とりく
6年生は、卒業記念として次のことに取り組みま
した。

① 今年、創立140周年を迎えた霜出小学校
にいただいた寄付金から、図書を約10万円分購
入しました。その図書を並べて置く書架を大工
さんの指導で製作し、卒業記念品として霜出小
学校に寄贈しました。

② 自分たちへの卒業記念品として、校歌の流れ
るオルゴール箱を作成しました。箱のふたには、
それぞれが彫刻を刻みました。オルゴールは、
霜出小の校歌のフレーズが流れます。霜出小
学校で学んだ記念になることでしょう。

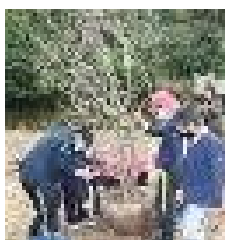


記念植樹（3月5日）

まいとしおこな きねんしょくじゆ ことし
毎年行っている記念植樹ですが、今年、さ
る山にライラックを1本、植樹しました。

ライラックは、モクセイ科の落葉小高木で、
甘い香りをもつ華やかで可愛い花を咲かせ
ます。

花言葉は、「思い出」「友情」です。霜出小
学校で互いに育んだステキな『友情』を大切
にして広く大きな世界に羽ばたいていってほし
いとの願いがこもっています。



まとめ

ほごしや せいび つづ やま
保護者が整備し続けているさる山のデッキやはし
ご、山道の階段など安全に注意しながら楽しい活動が
できました。保護者と子どものふれあいの機会にもな
りました。

こんねんど しんがた かんせんかくだいぼうし
今年度は、新型コロナウイルスによる感染拡大防止
の配慮が必要だったため、活動が実施できるか心配で
した。環境整備を行うと同時に、子どもたちが心豊
かに成長していくための学習や体験をすることがで
き本当によかったです。今後も学校林を活用した取組
を継続していきます。

サル山だより 第5号

発行日 令和3年3月5日

発行者 霜出小学校PTA 事業整備部

〒897-0306 南九州市知覧町西元5656番地
TEL0993-84-0622/FAX0993-83-2875

採択事業：森林環境税関係事業「森林の体験活動支援事
業」南九州市耕地林務課・南薩地域振興局・かごしま森林組合
など関係機関にご協力をいただきました。感謝申し上げます。